

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

フクシマガリレイ

第23回日経エデュケーションチャンレジ for SDGs に参加

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役 社長執行役員 福島 豪)は、2023年8月1日(火)2日(水)開催される「第23回日経エデュケーションチャンレジ for SDGs (主催 日本経済新聞社)」に参加致します。

◆日経エデュケーションチャレンジ for SDGs とは

社会の最前線で働く大人たちが先生となり、働く楽しさや仕事への情熱を高校生に伝える「キャリア教育プログラム」です。

自分の携わっているビジネスと歩んできたキャリアとを題材に

「仕事の楽しさ」「ビジネスのダイナミズム」「仕事への情熱」をリアルに語る授業内容となっています。

2023年授業テーマ：持続可能な社会と私の未来

主催：日本経済新聞社

開催日時：2023年8月1日(火)・2日(水) 12:00 受付開始(予定)

会場：慶應義塾大学三田キャンパス(東京都港区三田2-15-45)

募集人数：80名(応募締め切り 7/24)

ライブ配信日：2023年8月1日(火)・2日(水) 12:30 開始(予定)

アーカイブ配信期間：2023年8月28日(月)～9月30日(土)(予定)

HP：<https://adnet.nikkei.co.jp/a/edu/>

◆フクシマガリレイ提供授業

講師：岡山工場 製造本部部長 新名 猛

授業タイトル：「冷やすモノづくりから地球温暖化を食い止める」

講師から高校生へのメッセージ：

モノづくりが好きだった高校生が、飲食店の大きな冷蔵庫を開発する仕事をしています。お客様の要望に応える開発は苦労の連続ですが、製品が出来上がりお客様に喜ばれた時、自分もすごくうれしくなります。

冷蔵庫はなぜ冷える？冷やすための冷媒ってなに？なぜ地球温暖化を食い止められるの？今お客様から求められている環境負荷を考慮した製品開発を通して取り組んでいるSDGs目標について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

◆環境ビジョン『Dramatic Future2050』

ガリレイグループでは、創業 100 周年となる 2051 年を見据えてサステイナブルビジョン「Dramatic Future 2050」を策定し、2030 年までの環境アクションの 1 つとして、グリーン冷媒への転換を掲げています。今回の授業では、業務用冷蔵庫やショーケースの基本的な仕組みから、業務用冷蔵庫の冷媒転換が地球温暖化防止につながっている事を紹介します。

環境アクション 2030

1. グリーン冷媒への転換

低 GWP 冷媒、自然冷媒への転換を通じ、温室効果ガス低減に取り組み、地球温暖化防止に貢献します。

2. 冷媒ガス漏洩防止

IT を駆使したサービタイゼーションによるプレメンテナンスの拡充により、冷媒漏れ 10 年保証を目指します。

3. 環境性能の高い製品を開発・提供

製品のライフサイクルにおいてより環境負荷の少ない製品へ移行します。

4. CO2 排出量削減

最新の省エネ技術の積極導入や再生可能エネルギーの活用などを通じ、バリューチェーン全体で CO2 排出量削減に貢献します。

詳細：<https://www.galilei.co.jp/sustainable/>

お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社（担当：営業戦略部 販売企画課）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 TEL：06-6477-2031 FAX：06-6477-0025

URL：<https://www.galilei.co.jp/>